

はばたき

平成27年

10月31日

第89号

発行者 社会福祉法人 新生会 障害者支援施設 第二新生園 鈴木 長 幸
岩手県紫波郡矢巾町大字太田 17-54 TEL(019) 697-8011 FAX(019) 697-8013



～ おもな内容 ～

発行にあたって
平成26年度収支決算報告書
各課の様子
福祉サービス第三者評価の結果
行事のひとコマ
特集 利用者旅行

三沢航空科学館にて、
間近で見る飛行機に
満面の笑顔です。



ホームページも
ご覧ください！

岩手 新生会

検索



QRコード
からもご覧
いただけます



「発行にあたって」 “理念”を自答できるように

施設長 鈴木長幸

秋の深まりとともに冬の便りが少しずつ聞こえて来る時期となりました。

ご家族、関係各位ならびに地域の皆様方には、これまでいただいたてきております。ご理解に心より感謝申し上げます。

ご挨拶もそこそこで大変失礼をしておりますが、本年 4 月 1 日より、施設長を引継ぎ、第二新生園でお世話になっております。改めまして今後ともご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

早いもので今年度も上半期が経過しました。利用者の皆さんの豊かな個性が重なり合い、変化に富む毎日ですが、お陰様で各事業の運営は順調に推移しているところ です。入所・生活介護では、健康の維持を基本に、楽しみと変化のある生活及び住環境の充実に努めています。夏の夜には、短時間ではありましたが、近隣の花火大会を眺めに外出をしました。通所の生活介護では、作業、創作、娯楽等に工夫を凝らし、充実した日中活動の提供に努めています。利用者さんからの要望が多い散歩も天候の許す限り継続するようにして

います。そして、就労継続支援 B 型では、例年にも増して受託作業を頂くことができ、忙しい毎日が続きました。そのため、当園定番の農作業に手を回すことも儘ならず、今夏は担当職員が雑草と奮闘することになってしまいました。

利用者皆さんが心待ちにしていた恒例の旅行は 7 月～10 月、5 回（1泊2日 3 コース、日帰り 2 コース）に渡って実施しました。それぞれが楽しむことができる場所・場面を用意し、たくさん思い出を作っていたことができましたが、利用者の方々のご希望と目的地との折り合いをつけながらの計画づくりは難しい面がありました。参加した利用者さんの満足された様子に触れるにつけ、今後の実施のあり方について考えさせられます。また、日常的にも地域の行事に参加したり、小グループで買い物、食事、整容のために外出したりと、可能な限り園外に出るようにしています。

さて、今年度は当法人中長期計画（平成 27～32 年度）の初年度となります。その前半の 3 年間は第 IV 期中期経営計画期間と位置付け、

「利用者」「地域社会」「職員」「組織管理」の 4 つの視点での取り組みを始めています。当園でも、昨年度受審した福祉サービスマス第三者評価の結果を再考察しながら運営の改善、充実に着手しています。また、ハード面では、通所サービスマスの充実を図るため、平成 29 年度を目標に生活介護棟の整備を計画しており、いずれも、着実に進めて行きたいと考えています。【中長期計画の内容については、社会福祉法人新生会のホームページよりご覧ください】

5 月下旬、当法人の創始者である藤原清司氏（現在は相談役）のお話を伺う機会がありました。ご存知のように当法人の理念は「輝く命」です。そして、日浦美智江氏著「みんな一緒」からの引用である「体と心は病気になるりますが、命は病気になるない・・・（中略）・・・より良い状態で生き続けることこそが幸せと思います・・・（略）」が添えられ、毎月の例会では利用者さん、職員が一同で共有するようにしています。

私は着任以来、「輝く命」とは利用者さんのどんな姿を描いているのかということに自問しています。職員へも「法人の理念を利用者さんが分かるように説明できますか」と投げかけています。創始

者は福祉を志すにあたって影響を受けた人物の一人に、日本の障害者福祉の先駆けとなったあの糸賀一雄氏（近江学園創立者）を挙げられました。その「この子らを世の光に」と繋げてみると理解できるような気がします。それは「一人一人が真に社会で尊重される存在になること」、そのためには、言うまでもなく、園の運営は、利用者の方々が主体でなければならぬことを改めて教えられます。

私が特別支援学校に勤務し、卒業生の進路先を相談するために県内を走り回っていた時代と比べて、障がいのある方を取り巻く環境はかなり整備され、理解も進んでいるように思われます。しかし、実際に福祉現場に足を踏み入れてみると、様々な制度改革の波から求められてきている課題の重さを痛感する毎日です。

今後とも、法人の基本方針である「人権の尊重、四者一体での運営、倫理の確立、地域生活支援の活動強化」の上に立ち、利用者さん一人一人が自分の個性と力を発揮して歩もうとしているかけがえのない人生を支え、当法人の理念が描く姿を自答することができるよう、職員が一丸となって福祉サービスマスの向上に努めてまいります。

平成26年度決算報告

(平成27年3月31日現在)

貸借対照表

勘定科目		金額	勘定科目		金額
資産の部	流動資産	100,689,435	負債の部	流動負債	11,731,679
	固定資産	580,265,702		固定負債	8,165,225
				負債の部合計	19,896,904
			純資産の部	基本金	173,029,425
				国庫補助金等特別積立金	157,919,064
				その他の積立金	239,141,000
				次期繰越活動増減差額	90,968,744
資産の部合計		680,955,137	純資産の部合計		661,058,233
			負債及び純資産の部合計		680,955,137

資金収支計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

事業活動計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

勘定科目		決算額	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	1,025,360
		障害福祉サービス等事業収入	233,772,089
		借入金利息補助金収入	24,767
		経常経費寄附金収入	10,400
		受取利息配当金収入	58,950
		その他の収入	947,852
		事業活動収入計(1)	235,839,418
	支出	人件費支出	131,989,134
		事業費支出	39,016,971
		事務費支出	21,315,835
		就労支援事業支出	1,129,826
		支払利息支出	81,923
		その他の支出	71,490
事業活動支出計(2)		193,605,179	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		42,234,239	
施設整備等による収支	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,900,000
		固定資産取得支出	4,064,040
		施設整備等支出計(5)	5,964,040
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 5,964,040	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	25,957,150
		その他の活動収入計(7)	25,957,150
	支出	積立資産支出	116,613,675
		拠点区分間繰入金支出	9,431,000
		その他の活動による支出	41,250
		その他の活動支出計(8)	126,085,925
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 100,128,775
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 63,858,576	
前期末支払資金残高(12)		158,897,747	
当期末支払資金残高(11)+(12)		95,039,171	

勘定科目		決算額	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	1,025,360
		障害福祉サービス等事業収益	233,772,089
		経常経費寄附金収益	10,400
		サービス活動収益計(1)	234,807,849
	費用	人件費	132,236,705
		事業費	39,016,971
		事務費	21,315,835
		就労支援事業費用	1,148,201
		減価償却費	15,371,559
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 6,799,939
サービス活動費用計(2)		202,289,332	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		32,518,517	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	24,767
		受取利息配当金収益	58,950
		その他サービス活動外収益	947,852
	サービス活動外収益計(4)		1,031,569
	費用	支払利息	81,923
		その他サービス活動外費用	71,490
サービス活動外費用計(5)		153,413	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		878,156	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		33,396,673	
特別増減の部	費用	固定資産売却損・処分損	10
		拠点区分間繰入金費用	9,431,000
		拠点区分間固定資産移管費用	41,203
		その他の特別損失	16,445,161
	特別費用計(9)		25,917,374
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 25,917,374	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		7,479,299	
繰越額の活動部増減差	前期繰越活動増減差額(12)	173,489,445	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	180,968,744	
	その他の積立金積立額(16)	90,000,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)-(16)	90,968,744	

活動の様子

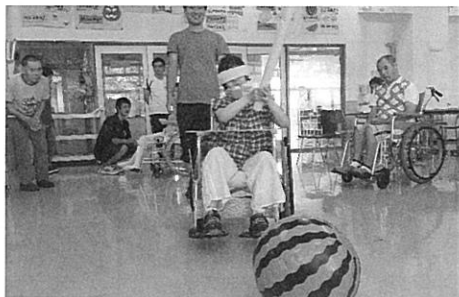
支援二課(入所)

生活支援員 川村真知子

日々の日中活動では、利用者のニーズが多いカラオケや楽器演奏などの音楽活動、ボールを使つてのスイカ

割りやお菓子を つけた手作りの木でのさくらんぼ狩り等、職員 アイデアに溢れたお楽しみ会を行い、利用者の皆様に楽しんでいただいています。

また個別外出では、利用者の方の「花火が見たい」とのその一言



から思いをかたちにしたいと計画し、紫波町と盛岡市の2ヶ所の花



火を觀賞してきました。更にお盆中のお楽しみ会として、しばらく途切れていた

園内での花火大会も復活しました。手持ち花火で喜ばれている方々や、なかには怖々手にしている方もいました。また、ささやかではありましたが窓越しで舞い上がる綺麗な打ち上げ花火では、皆様釘付けになって見入っていました。

これからも利用者の方々の思いや願いをかたちにすることが出来る活動や外出を行うことができるよう、お一人おひとりの声に耳を傾け、汲み取りながら支援していきたいと思っております。



活動の様子

支援二課(通所)

生活支援員 齋藤 文祐

今年度も、前年度同様に火曜日と木曜日は、あおぞら班、たいよう班、ほのぼのの班の3つのグループに分かれ、作業的な活動を行っています。それ以外の曜日には、散歩やレクリエーション的な活動を行うようにしてきています。その中で、あおぞら班は、花苗を育て、プランターに植えるなどの園



芸活動を行い、他施設や保護者の方にも購入して頂きました。その他の活動としては、ボウリング大

会、お花見、七夕、かき氷、ハロウィンパーティーなど季節に応じた活動を行って頂きました。しかし



年々外出行事等が難しくなってきたのが現状です。現在の回数を維持しつつも、それに代るような園内活動の充実を図っていくことが、今後の課題です。



活動の様子 就労継続B型

生活支援員 小野寺桃子

早いもので、平成23年度に就労継続支援B型事業が始まって5年目になります。受託作業では、大

根の漬物のヒゲ取りや商品パッケージのシール貼り、青豆の選別や箱折りに取り



組んでいます。畑作業では、夏野菜を中心に愛情を込めて育てています。今年で2回目となるじゃがいもの収穫祭も大成功でした。野菜は、新生会の各施設やバス送迎時に保護者の方へ買っていただいております。受託作業量も野菜の販売量も徐々に増え、工賃も少しずつではありますが上げることができ、皆でやり



皆でやり



がいを感じながら働く毎日です。作業で皆さんに頑張っていたいていいる分お楽しみのおープン日（土曜日の活動日）では希望に沿えるよう、ポウリング、買い物、カラオケなどに出かけました。仕事と余暇、両方の充実を目指しこれからも力を合わせて頑張っていきたいと思っています。



福祉サービス第三者評価

総務支援部長 山内 雄 幸

当園では平成26年度に、福祉サービスの質の向上を目的として、岩手県社会福祉協議会による「福祉サービス第三者評価」を受審しました。

受審結果は、安全管理やサービスの質等で高評価を得ることができた反面、特に排泄や睡眠については残念な評価となっております。これは、取組みは認めていただいたものの、トイレ内の設備の不足や居室が個室体制になっていない等、建物の古さを指摘された部分が多く、今後の施設整備の課題と受けとめています。

〈表の見方〉

細目数・・・ひとつの項目はいくつかの細目で成り立ちます。

基準点・・・各細目で全部最高評価 (a) だった場合の点数です。

評 点・・・実際の評価点数です。

基準充足率・・・基準点に対する評点の割合です。

※各細目への評価は、a(3点)、b(1点)、c(0点)で表されます。

【第二新生園】共通基準ポイント表

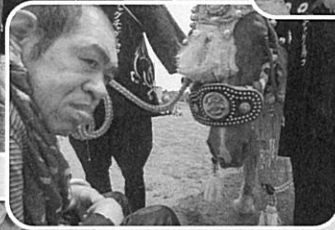
評価分類/項目	細目数	基準点	評点	基準充足率
I 福祉サービスの基本方針と組織				
I-1 理念・基本方針	4	12	10	83.3%
I-2 計画の策定	4	12	8	66.7%
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	4	12	8	66.7%
計	12	36	26	72.2%
II 組織の運営英管理				
II-1 経営状況の把握	2	6	2	33.3%
II-2 人材の確保・要請	9	27	7	25.9%
II-3 安全管理	2	6	6	100.0%
II-4 地域との交流と連携	7	21	11	52.4%
計	20	60	26	43.3%
III 適切な福祉サービスの実施				
III-1 利用者本位の福祉サービス	7	21	7	33.3%
III-2 サービスの質の確保	8	24	22	91.7%
III-3 サービスの開始・継続	3	9	5	55.6%
III-4 サービス実施計画の策定	4	12	10	83.3%
計	22	66	44	66.7%
合 計	54	162	96	59.3%

【第二新生園】内容評価ポイント表

評価分類/項目	細目数	基準点	評点	基準充足率
A-1 利用者の尊重				
1-(1) 利用者の尊重	4	12	4	33.3%
計	4	12	4	33.3%
A-2 日常生活支援				
2-(1) 食事	3	9	7	77.8%
2-(2) 入浴	3	9	2	22.2%
2-(3) 排泄	2	6	0	0.0%
2-(4) 衣服	2	6	4	66.7%
2-(5) 利用・美容	2	6	6	100.0%
2-(6) 睡眠	1	3	0	0.0%
2-(7) 健康管理	3	9	7	77.8%
2-(8) 余暇・レクリエーション	1	3	3	100.0%
2-(9) 外出・外泊	2	6	2	33.3%
2-(10) 所持金・預り金の管理等	3	9	1	11.1%
計	22	66	32	48.5%
合 計	26	78	36	46.2%

チャグチャグ 馬っこ交流会

6月の晴天のこの日、昨年と同じ、優しい優しい目をした馬っこが第二新生園の利用者さんに会いに来てくれました。なかなか近寄れなかった利用者さんも職員と一緒にゆっくりと近づいて、馬っこの瞳の優しさにふれあうことができました。



行 事 の ひ と こ ま

じゃがいも収穫祭

晴れた夏の日、自分たちで育てたじゃがいもの収穫に皆さん笑顔、笑顔、笑顔でした。



- 【 7月23日～24日 青森八戸コース】
- 【 8月27日～28日 夏油コース】
- 【 9月 8日 電車で行くラウンドワンコース】
- 【 9月18日 いわてこどもの森コース】

特集 利用者旅行

今年度も、利用者さんみなさんが楽しみにされている旅行に出かけております。コースや日程は様々ですが、それぞれが目一杯楽しまれていらっしゃいました。旅先での利用者様方の表情を、お届けします。



入所者

◇岩淵和恵さん 10月21日付
県南出身です。日に日に笑顔の回数が増えてきました。

退所者

◇小山田ひとみさん 9月30日付
10月よりご自宅へ戻られ、通所施設を利用される事になりました。ご多幸をお祈りいたします。

◆村上久夫さん 8月16日付
8月16日ご病気によりご他界されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



今後の行事予定

- 十一月。保護者会研修
 - 十二月。すてきなパーティ
 - 一月。年祝い
 - 二月。豆まき
 - 三月。寿司の日
- 。退園式



ホームページもご覧ください!

岩手 新生会

検索



QRコードからご覧ください